

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

信用を重んじ社会の発展に貢献し、時代のニーズに対応する変貌する企業。社員の信頼と人材育成で希望に満ちた企業を創造。常に学ぶ姿勢で自己と企業の進歩を目指す。

売上高
300億円

経常利益
21億円

売上高
260億円

経常利益
14億円

② 中長期の経営戦略

1. 収益力の向上

オンリーワン企業を目指し、技術提案型営業を強化。新商品・新工法の普及と既存商品の改良で持続的成長を実現。

2. 技術・開発力強化

DX、技術者不足、環境負荷への対応など社会課題解決に向け、既存・新規事業分野で積極的に研究開発を推進。

3. 働き方改革

社内情報システム導入と就労環境整備により職場充実を図り、人材確保と生産性向上、業務効率化を推進。

4. 経営基盤の再構築

経営効率化とスリム化により、組織力強化と人材確保・育成を実施。新投資戦略で内部体制強化に取り組む。

③ 対処すべき課題

① DXの推進

- ・ ビジネスモデルの再検証・スリム化とナレッジの情報化
- ・ IT/IoT商品開発と社内情報システムの再構築による業務効率向上
- ・ 経営層から若手までの階層別教育によるイノベーション人材育成

② 人材の活躍と成長

- ・ 女性管理職登用やシニア人材活躍機会によるダイバーシティ推進
- ・ DX専門人材育成や各階層別教育、コンプライアンス教育の実施
- ・ 働きがい向上と男性育児休業制度取得促進によるワークライフバランス改善

③ 投資戦略の実行

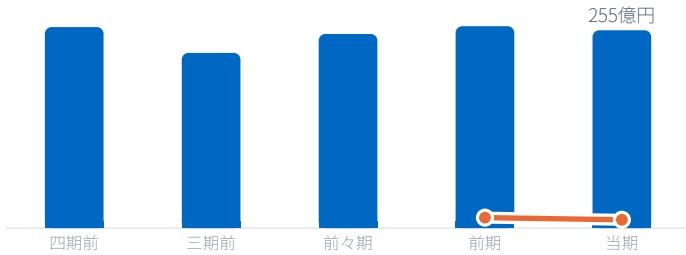
- ・ 産官学や異業種との共同研究、SDGs関連商品開発の強化
- ・ 建設DXや省力化領域への成長投資
- ・ 人的資本経営強化と設備投資による生産性向上

面接で使えるポイント

- ・ 1965年創業、日本初のあと施工アンカー専門企業として、オンリーワン技術でインフラ整備に貢献。
- ・ 2031年3月期に売上高300億円、経常利益21億円を目標とする成長戦略を展開中。
- ・ DX・人的資本経営・成長投資に取り組み、建設業界のリーディングカンパニー確立を目指す。

証券コード 3420

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
255億円営業利益率
4.2%財務健康度
60点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 53.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
640万円

金属製品内 41位/86社

平均年齢
42.4歳

金属製品内 52位/86社

平均勤続
14.0年

金属製品内 67位/86社

女性管理職
－（未開示）男性育休
90.0%

金属製品内 16位/60社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ケー・エフ・シー[3420]: 2026年3月期通期個別業績予

